

イマジネーションを高めよう

いけ はら とも ひろ
校長 池原 智宏

日本列島に次々と台風が接近し、日本各地で災害による痛ましい被害が報道されておりましたが、保護者の皆様方におかれましては御無事だったでしょうか。被災により大変御苦労をされている皆様には心より御見舞い申し上げます。また、夏休み明けには、新型コロナウイルス感染症の感染が複数確認され、8月23日(火)～8月26日(金)まで休校とさせていただきます。保護者の皆様には、突然の休校にも関わらず帰省への対応に御協力いただき誠に有り難うございました。再開後は、体調不良者もなく教育活動を進めることができました。感謝申し上げます。今後とも、御協力の程よろしくお願いいたします。

さて、校庭の桜の木も赤く色づきはじめ、音威子府村にも秋の訪れを感じさせる季節になりました。これまでの主な行事と教育活動を振り返ってみますと、8月25日、「高文連道北支部美術展審査会」が美深町で開催されました。本校では休校の影響で、作品完成が間に合わず残念な思いをした生徒もおりましたが、美術部、工芸部合わせて43作品が出展されました。美術部からは11作品が入賞、5作品が佳作、工芸部からは9作品が入賞と素晴らしい結果をいただき、本校の作品レベルの高さをあらためて感じているところです。入選作品については、10月5日から岩見沢で開催される「高文連美術全道大会」に出品されます。また、9月には、東海大学との高大連携による2年生のデザインスクールが3年ぶりに開催され、無事に終わることができました。2泊3日の日程で、大学を会場にいつもとは違う環境で学びを深められたことは、一回りも二回りも成長できたのではないかと、終えてからの学校生活を見て感じています。

本校の学校教育目標は、「造形体験を重ね、創造力を育成する」ですが、この「創造力」こそが、一番重要と考えます。今までにない答えを作り出す「デザイン力」はもちろんのこと、「自分がどんな生き方をするのか」のような大きい問題の答えを出すために、やりたいことや、好きなことから、現状と理想とのギャップを埋めることをやっていく、これが、「創造力」であると思います。「こうあったらいいな」という自分のイマジネーションを出発点に、構想が

生まれ、創造とつながっていきます。3年間で、やりたいことから、将来を創造すること、将来のビジョンを明確にしていく作業は、本校らしい学びです。創造力を伸ばすことは、この変化の激しい時代に生徒が様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくために必要な要素であると思います。生徒の皆さんは美術・工芸の学びの中からイマジネーションを高め「創造力」を磨き、すばらしい人生をデザインしてください。

最後に、前期を終えようとする今、3年生は自己の進路決定に向けて全力で取り組んでいます。学校としても最大限応援しますので頑張ってください。2年生は具体的な進路について真剣に考える大事な時期です。1年生は学校生活を左右するコース選択が目前に迫っています。保護者の皆様におかれましては、家族での話し合いを十分にされますとともに、後期に向けて準備学習等に全力をあげて頑張ってくださいと思います。

「3年生は後輩のあこがれ」

教務部長 森下 瑛 仁

現在、学校は3年生の進路実現に向けての取組が本格化しています。放課後は面接指導や志望理由書の添削を受け、帰寮後も文書作成やプレゼン用のパワーポイントの作成に夜遅くまで取り組んでいると思われます。忙しいなかでも、しっかりと課題をこなし、着実に教科で求められる学力を身に付けている姿は、さすがだと思えます。よく両立していますね。また、日頃はあまり口数の多くない3年生ですが、面接練習を通じて、「自分の夢」、「将来の目標や方向性」をしっかりと伝えてくれます。私が1年生のときから指導していますが、立派に成長しているなと感じます。そして、その姿を1、2年生は本当によく見えています。

先日、ある1年生が「3年生は立派に話せてすごい。私は後輩が入ってきたときに心配だ…」と話していました。後輩の良き手本となっている3年生。秋休みが明けたら卒業までの登校日数は67日です。残りの学校生活を大切にしてください。1、2年生は後期から勉強が難しくなります。予習復習を大切にしてください。

「初志と展望」

生徒指導部長 近江 建 心
令和4年度もちょうど半分が過ぎ、日を追う

ごとに音威子府の空気も冷たくなり、秋の到来と冬の訪れを予感させる季節となりました。

ここで、これまでの学校・寮生活を振り返り、後期への展望について考えてみましょう。

1年生の皆さんは、入学したての頃の緊張感を覚えていますか？2年生の皆さんは、中だるみしていませんか？3年生の皆さんは、卒業制作や進路活動に取り組む怒濤の日々だったと思いますが、後輩の模範となる動きができていましたか？

それぞれが自分自身と向き合う時間を大切にしてください。目指す場所や自分の理想の姿、やるべきことやできることがきっと見えてくると思います。初志を忘れず目標に向かって邁進してください。後期も明るく、元気に健康的に学校生活を送れるよう、頑張りましょう。

「進路実現に向けて」

進路指導部長 石川 朋 美

今年も3年生は9月から公務員試験をスタートに、民間就職、専門・大学…と選考試験が始まりました。受験生は書類作成や面接練習、受験勉強などやらなくてはならないことが山積みで、緊張感が解けない毎日です。

現在の新入試では「高校生活で頑張った成果」や「社会と今の自分との関わり方」について問われています。1、2年生はまだまだ先だと思っている人も多いかもしれませんが、今しか活動できるチャンスはないと思ってください。そして長期休みには保護者と進路について話を進めてください。自分の気持ちを言葉にし、態度で表し、保護者の思いも傾聴し進路活動を早期から行っていくことが大切です。

最後になりますが3年生の皆さんへ。受験へのスタートは一緒でも皆揃ってゴールはできません。しかし、周りには一緒に頑張っている仲間がいます。支え応援してくれる保護者や教職員がいます。最後まで全力で走り抜きましょう。

●おと高 Story

《1学年アイヌ工芸出前講座》

9月14日、アイヌ工芸作家の貝澤 守さんと関根真紀さんを招き、アイヌ工芸出前講座が実施されました。



木のコースターに、彫刻刀を使ってアイヌ文様を彫る生徒たち。「魚のうろこ」の文様は、精巧で細かな彫刻刀裁きが求められますが、貝

澤さんの丁寧な指導で、完成まで掘り進めることができました。

講座が終わった後も、アイヌ文様が施された小刀を手にしたり、アイヌ民族衣装に袖を通したりするなど、アイヌ伝統文化への興味を持った様子でした。

《2学年デザインスクール》

9月6日から2泊3日の日程で、東海大学札幌キャンパスにてデザインスクールが行われました。

デザインスクールは、高大連携授業の一つで、例年、2学年生徒を対象に行っています。

「カブリモノ制作」は、ペアになった仲間へのインタビューを通して、相手のイメージをふくらませ、それに見合ったデザインをしていくというもの。日頃の寮や学校生活の様子はもちろんのこと、インタビューで新たに発見したことなどを取り入れながら、頭にかぶる作品を作り上げていました。

他にも札幌市にある「道立近代美術館」や旭川市にある家具ブランド「Conde House (カンディハウス)」さんも見学させて頂き、学校生活では味わうことのできない、芸術にふれる充実した3日間となりました。

《3学年化学基礎授業》

9月13日、北海道教育庁上川教育局から指導主事を招いて、安喰教諭による化学基礎の研究授業が行われました。

酸化鉄から鉄を取り出す酸化還元反応の一つ「テルミット反応」の実験に取り組みました。



「ものづくり」で鍛えた手で、スムーズに実験装置を組み立て、反応を観察する生徒たち。激しい反応に驚いた様子でしたが、反応物が磁石につくことに気づき、鉄が取り出せることを見つけ、感動していました。テルミット反応は、鉄道において線路と線路をつなぎ合わせる時、テルミット溶接として活用されています。理科の授業は、日常生活との関連を大切にしながら進めているところです。